

人物情報の調べ方

～ 日 本 人 編 ～

2007.5 山梨県立図書館

人名辞典にはいわゆる一般的な人名辞典や専門人名辞典をはじめ、姓名の読みや綴りを調べる人名読みかた辞典や人名及び人物文献索引等、より専門的な情報を調べるための様々な種類があります。それぞれの辞典の特徴を把握して、その用途に応じて使い分けてみましょう。



特定の人物について調べる

1. 正確な名前や読みがわからない場合

名前・苗字・号等をキーワードに検索していく手法が一般的ですが、手掛かり情報が名前・苗字・号等の一部だけということもしばしばです。手掛かりがあいまいな場合には、最初に正確な名前や読み等を確認し人物を特定することが大切です。

step1 姓名（名前・苗字）の読みがわからない

(1) 事典類で調べる

『人名よみかた辞典』『姓の部』『名の部』新訂第3版（日外アソシエーツ 2004）

明治以降の日本人名を対象に、一般に難読と思われる姓・名や読み誤りやすい姓・名、幾通りもの読みのある姓・名を採録し、その読み方とともに実例として実在の人物の人名を示した読み方辞典。部首順に排列されており、「音訓よみ姓・名のガイド」「部首・総画順名ガイド」も収録されています。既存の典拠録や人名事典等の採録情報により、どの事典に掲載されているかも調査できます。姉妹編として『西洋人名よみかた辞典』があります。

『日本史人名よみかた辞典』（日外アソシエーツ 1999）

『歴史人名よみかた辞典』（日外アソシエーツ 1989）

古代から幕末までの歴史上の人物について、それぞれの姓氏・名前の読み方を調べるための辞典。神名・架空名、及び日本国内で活躍した漢字表記のある外国人を含み、姓氏・名前の冒頭一文字がわかれば、その人名の読み方や、身分・職業等が調べられるよう編纂されています。「音訓よみガイド」「総画順ガイド」「五十音順人名索引」が収録されている他、典拠資料として人名事典等の採録情報及び人物の特定に必要な情報の記載があります。

『同姓異読み人名辞典』（日外アソシエーツ 1988）

明治以降の人物情報から、漢字表記が同じでも二通り以上の読み方がある姓氏（苗字）を調査できる人名辞典。総画数順の「姓見出し一覧」及び五十音順の「姓の異読み一覧」が収録されています。それぞれの姓ごとにその姓を持つ人物情報（生没年月日、職業、肩書、専攻分野等）の記載があります。「西洋人編」あり。

『同名異人事典』新訂増補（日外アソシエーツ 2002）

明治以降、様々な分野にわたる知名人・文化人・執筆者などの中から同一表記で「読みが同じ人」「読みの異なる人」を採録した同名異人辞典。排列は見出し人名の五十音順で、見出し人名を一覧にした「収録人名一覧」や参照も立てられています。人物の同定・識別作業に必要な人物情報（生没年月日、職業、肩書、専攻分野、著書等）の記載があります。「外国人編」あり。

★その他にも、例えば…★

一般的な人名辞典にも、巻末に難読姓・名索引や漢字画引等が用意されている場合が多いので、それらも活用してみましょう！

『講談社日本人名大辞典』（講談社 2001）

難読姓・名索引がある。

『日本近現代人名辞典』（臼井勝美ほか編 吉川弘文館 2001）

漢字画引がある。

『日本人物情報大系』（芳賀登ほか編 皓星社 1999-2002）

日本人の列伝・叢伝を縮刷し集大成した叢書。「女性編」「満洲編」「憲政編」「企業家編」「学芸家編」「書画編」「朝鮮編」「諸芸編」「宗教編」にわかれています。索引は「女性編」「満洲編」「憲政編」「企業家編」のみ。

（2）Webサイト情報源で調べる

インターネットで調べる場合、調べる対象が日本人ならば漢字の表記を総合的な検索エンジンのテキストボックスに入力し検索することができます。どのくらいの情報量が得られるか、まず検索してみて、その後の検索手段を決定する参考にしてはいかがでしょうか。

■有料データベース

「**聞蔵（朝日DNA）**」（朝日新聞社）

「人物DB検索」機能では、各界で活躍中の人物の経歴や連絡先などの情報が検索できます。

「**日経テレコン21**」（日本経済新聞社）

「人事検索」機能では、姓名や勤務先名から企業人や行政関係者の職務歴を中心とした人物紹介（「日経WHO'S WHO」）の検索や、人事記事検索から直近の人事の記録も検索できます。

■その他

「**オンライン人名辞典**」(皓星社) <http://www.libro-koseisha.co.jp/top01/top01.html>

様々なホームページ上に掲載されている人物情報に、「人名」をキーワードにしてアクセスできるようにしたリンク集。その他に「雑誌記事索引集成」では『日本人物情報大系』の執筆者、被伝記者の検索が可能です。県立図書館HPのリンク集にあります。

「**人名録最近の新聞に載った有名人**」 <http://www.ctl.ne.jp/~kai-6344/>

新聞・雑誌に掲載された、読み仮名のついている人名を集めたものです。人物の特定に必要な肩書きや職業についても掲載があります。日本人、中国・韓国人、難読人名、アルファベット順、画数順などに分類されています。

「**著名人人名辞典 People Chase**」(PHP研究所) <http://www.php.co.jp/fun/people>

PHP研究所が作成した、現在活躍している人々の経歴を紹介したサイトです。

step2 名前はわかるが、姓がわからない

(1) 事典類で調べる

『**名前から引く人名辞典**』新訂増補(日外アソシエーツ 2002)

近世以前の歴史上の人物(明治・大正期の文芸・芸術分野の人物も一部含む)について、名や雅号を五十音順に排列した、名前から引く人名辞典。すべて読みの五十音順に排列され、姓表記、姓の読み、生没年、活躍時代と肩書・身分・職業等を記載しています。

(2) Webサイト情報源で調べる

■有料データベース

「**聞蔵(朝日DNA)**」(朝日新聞社)

「**日経テレコン21**」(日本経済新聞社)

■その他

「**オンライン人名辞典**」(皓星社) <http://www.libro-koseisha.co.jp/top01/top01.html>

step3 号あるいは別名はわかるが、本名がわからない

(1) 事典類で調べる

『**号・別名辞典**』新訂増補(日外アソシエーツ 2003)

時代別に「古代・中世・近世」と「近代・現代」の2冊からなり、号・通称・諱・名・字等の別名から調査できます。代表的な姓名とその読み、生没年、身分・職業、出生地・出身地、本名などが確認できます。「音訓読みガイド」や「総画順ガイド」の他、「姓名から引く号・別名一覧」も収録されています。

『国書人名辞典』第5巻 補遺・索引（市古貞次ほか編 岩波書店 1999）

『国書総目録』（岩波書店）に記載された著編者のうち伝記の判明した人物を掲載した『国書人名辞典』の人物索引編で、名・字・通称・号等から調査できます。

『近代人物号筆名辞典』（近代人物研究会編 柏書房 1979）

明治以降に活躍した人物のうち著作活動を行った人物を中心に、号・筆名といった「別名」を有する人物を収録した人物辞典。「近代人物〔号・筆名〕一覧」及び「号・筆名索引」「幕末維新人物変名一覧」等を収載しています。

＊諱（いみな）＝（１）死後にいう生前の実名

（２）貴人の実名を敬している。

（３）死後に尊んでつけた称号。諡（おくりな）。

＊字（あざな）＝学者・文人の実名以外の号。

＊号（ごう）＝学者・文人・画家などが本名・あざなの他に用いる雅名。雅号。

＊通称＝一般に通用する名。

（『広辞苑』より）

（２）Webサイト情報源で調べる

『俳句人名読み方辞典』 <http://members.jcom.home.ne.jp/yanma36/>

現在に至る俳人を姓で検索できる「俳句人名辞典」と俳号から検索する「俳号一覧」があります。俳号しかわからない場合に、姓名や名前の読みを調査できます。

step4 姓名の読みはわかるが、漢字表記がわからない

（１）事典類で調べる

『人物レファレンス事典』新訂増補（日外アソシエーツ 1996-2003）

時代別に「古代・中世・近世編」「明治・大正・昭和（戦前）編」「昭和（戦後）・平成編」の３種からなり、ある人物についてどの事典に掲載されているか調査できます。生没年、活動時期、職業や肩書、業績等の簡単な人物情報も記載があります。姉妹編として『西洋人物レファレンス事典』『東洋人物レファレンス事典』『外国人物レファレンス事典』があります。

『日本著者名・人名典拠録』新訂増補版 全４巻（日外アソシエーツ 2002）

昭和以降に刊行された図書の日本人著者（編者・訳者含む）を対象に、生没年、活動時期、職業や肩書、別名や本名、著書情報等の簡単な人物情報の記載があります。姉妹編として『西洋人名・著者名典拠録』があります。

（２）Webサイト情報源で調べる

■有料データベース

『聞蔵（朝日DNA）』（朝日新聞社）

『日経テレコン21』（日本経済新聞社）

■その他

「オンライン人名辞典」(皓星社) <http://www.libro-koseisha.co.jp/top01/top01.html>

「人名録最近の新聞に載った有名人」 <http://www.ctk.ne.jp/~kai-6344/>

「著名人人名辞典 People Chase」(PHP研究所) <http://www.php.co.jp/fun/people/>

姓氏の表記や読みが分かったら、人名辞典を調べてみましょう。一般的な人名辞典のほか、時代ごとの辞典や、各分野で活躍した人の場合はその分野の辞典を調べていきます。

2. 現在活躍している人を調べる場合

現在活躍している人を調べる場合には、最近の情報であることも大切になってきます。本で調べるときは、その本の出版年や掲載時点を確認しましょう。

step1 現在活躍している人物の場合には…

(1) 事典類で調べる

『人事興信録』上, 下(興信データ 2005)

現代日本の各分野で活躍している人物を対象に収録。略歴のほか、家族関係や主要著作などについても記載があります。読みが判明していない場合にも活用できる他、五十音順人名索引もあります。

『日本紳士録』(交詢社出版局編 ぎょうせい 2002)

現代日本の各分野で活躍している人物を対象に五十音順で収録。

『現代日本人名録 2002』新訂 全4巻(日外アソシエーツ 2002)

現代日本の様々な分野の第一線で活躍中の人物を幅広く収録。略歴のほか、主要著作などについても記載があります。『現代日本女性人名録』新訂、『現代外国人名録2004』もあります。

(2) Webサイト情報源で調べる

■有料データベース

「聞蔵(朝日DNA)」(朝日新聞社)

「朝日新聞人物データベース」は幅広い分野から厳選した人物情報約34,500件を収録。国会議員、都道府県議会議員、知事、市長、東京23区長を収録、官僚は局長級以上、都道府県の三役を収録しています。経済界では東証1部上場企業の社長や会長、株式公開企業の社長を、学者や研究者は大学学長と知名度の高い学者を中心に、若手研究者を収録する充実した人物情報。

「日経テレコン21」(日本経済新聞社)

■その他

「オンライン人名辞典」(皓星社) <http://www.libro-koseisha.co.jp/top01/top01.html>

「人名録最近の新聞に載った有名人」 <http://www.ctk.ne.jp/~kai-6344/>

「著名人人名辞典 People Chase」(PHP研究所) <http://www.php.co.jp/fun/people/>

step2 専門分野で活躍している人物の場合には…

(1) 事典類で調べる

■ビジネス関係分野

『会社職員録 2006 非上場会社版』上, 下(ダイヤモンド社 2006)

『会社職員録 2007 全上場会社版』上, 下(ダイヤモンド社 2006)

「全上場会社版」全国証券取引所に上場している会社を対象に、本社は課長以上、支店・営業所等は部長以上を収録しています。

■政治・行政関係分野

『職員録 平成19年版』上, 下(国立印刷局 2006)

官公庁の係長および同相当職以上に在職する職員を対象に収録しています。

『現代政治家人名事典』新訂(日外アソシエーツ 2005)

国会議員及び知事・市長・特別区長等を中心に、中央・地方の政治家約4,000人を収録。経歴などのプロフィールに加え、著書や評伝情報も紹介あります。

『政・官・司法界人名録 2006』(三共社 2005)

衆・参議院議員、都道府県知事、市長、裁判官、中央省庁・日本郵政公社・独立行政法人・地方庁・特殊法人他に所属する役職者等の人名録。氏名、出身地、生年月日、最終出身校・学部、職歴、趣味、勤務先住所・電話を掲載しています。各組織ごとに「要覧」及び五十音順の「人名録」の順で排列されています。巻末に人名録の五十音順の索引があります。

■研究者関係分野

『全国大学職員録 平成18年版』(広潤社 2006)

「国公立大学編」「私立大学編」の2冊からなり、都道府県順で大学ごとに収録されています。教員については、職位・学位称号・最終学歴・主な担当科目等の記述があります。巻末に人名索引も収録。

■法曹関係分野

『全国弁護士大観2005』第10版(法律新聞社 2005)

全国の弁護士約18,000人を所属弁護士会別に収録。略歴のほか最終学歴・司法試験合格年・司法修習年・主な取扱い業務等の記述があります。本人写真も掲載。

(2) Webサイト情報源で調べる

■全般

☐ 有料データベース

「**聞蔵(朝日DNA)**」(朝日新聞社)

「**日経テレコン21**」(日本経済新聞社)

☐ その他

「**オンライン人名辞典**」(皓星社) <http://www.libro-koseisha.co.jp/top01/top01.html>

「**人名録最近の新聞に載った有名人**」 <http://www.ctk.ne.jp/~kai-6344/>

「**著名人人名辞典 People Chase**」(PHP研究所) <http://www.php.co.jp/fun/people/>

■政治・行政関係分野

「**安倍内閣閣僚等名簿**」(首相官邸) <http://www.kantei.go.jp/jp/meibotou.html>

閣僚、副大臣、大臣政務官の氏名や本人写真、生年月日、出身、選挙区、経歴などが掲載されています。

「**政治家・政策データベース**」(構想日本) <http://db.kosonippon.org/>

現職国会議員を姓・名・選挙区から検索できます。本人写真やプロフィールのほか、ホームページアドレスや国会事務所・地元事務所の連絡先を掲載。管理者が実施したアンケートの回答も見ることができます。

「**都道府県知事ファイル**」(全国知事会) http://www.nga.gr.jp/tijifile/f_file.html

各都道府県の現職知事のプロフィール、本人写真と、歴代公選知事名簿を掲載。

■研究者関係分野

「**研究開発支援総合ディレクトリ(Read)**」 <http://read.jst.go.jp/>

研究者とその研究課題や、国内の大学や公的研究機関等に関する情報などを、研究者名、研究機関名、研究課題などから検索できます。

■法曹関係分野

「**最高裁判所の裁判官**」(裁判所)

<http://www.courts.go.jp/saikosai/about/saibankan/index.html>

最高裁判所長官および判事の略歴・本人写真・信条や、最高裁において関与した主な裁判の一覧とその判例を掲載しています。

「**弁護士情報検索**」(日本弁護士連合会) http://www.nichibenren.or.jp/bar_search/index.cgi

氏名の漢字・読みのほか、所属弁護士会や事務所名・事務所住所等から検索できます。連絡先などを掲載。

「**司法書士・総合相談センター検索**」(日本司法書士会連合会)

http://www.shiho-shoshi.or.jp/access_support/index.html

司法書士を名前のヨミのほか、住所(市区町村)で検索できます。